

地元で創業58年

# だいゆう

# 通信

## 『樹脂窓の魅力』

『みなさん、どんな窓がほしいですか？』  
そう聞かれてどんな窓を思い浮かべるでしょうか。様々な「ほしい」があると思います。  
その中でも代表的な5つをあげてみました。



結露にくい窓



冬の寒さを和らげる窓



夏の暑さを和らげる窓



防犯に優れた窓



お掃除が簡単な窓

住まいのことなら  
大きな事から小さな事まで  
ぜひ、ご相談下さい！

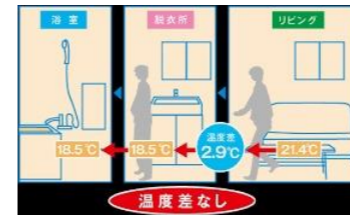


### メリット

①低い熱伝導率で断熱効果  
樹脂サッシの一番の特徴とも言えるのが、熱伝導率の低さです。アルミに比べると樹脂の熱伝導率は1000分の1ほどです。なので、家の中に外気が伝わりにくく断熱効果が高くなります。

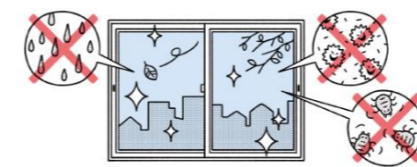


②寒さだけではなく暑さも低減  
夏の外気の熱は、約70%が窓から伝わると言われています。猛暑日にエアコンの効きが悪いと感じるのはそのせいかもしれません。樹脂は遮熱効果もあるので、節電にも繋がります。



③温度差をなくしヒートショックを防ぐ  
寒い冬、お風呂場や廊下・トイレが冷え切っていると部屋との温度差により、ヒートショックを起こす危険性があります。冷気も遮断してくれる樹脂サッシは部屋間の温度差を少なくしてヒートショックを防ぐ効果もあります。

②結露が生じにくい  
断熱性が高いということは、冬場の冷気が室内に伝わりにくいということになります。そのため、外気との温度差によって生じる結露にもあまり悩まされずに済むのです。結露が防止されることにより、健康を脅かすカビやダニの発生もしにくくなりますので、毎日のお掃除が簡単になるのも嬉しいですね。



③防音効果がある  
気密性に優れているので、外部の音が室内に侵入したり、家の中の音が外に漏れだしたりするのを防いでくれます。通り沿いの窓や音の気になる部屋にいいですね。

これらの「ほしい！」を全部叶えてくれるかもしれない窓が樹脂窓です。  
樹脂窓とは、窓のフレームが樹脂で出来ている窓の事で、『断熱・遮熱・気密性』に優れています。

### 樹脂窓の歴史と普及率

#### ～歴史～

日本であまり馴染みのない樹脂窓は、1955年にドイツで生まれました。その後ヨーロッパに広がり、1970年代にはアメリカで導入が始まりました。日本での発売は1980年代で、35年以上の実績があります。

#### ～普及率～

現在の普及率を見ると、お隣の韓国が80%次いでドイツ・アメリカが60%程となっており、日本はなんと17%！？なんです。

#### ～日本での使用地域～

北海道や東北3県の寒冷地で多く使用されているので、関東に住んでいる私たちには、まだ馴染みが薄いですね。

続いて、メリットとデメリットを見てみましょう。



### デメリット



①価格が高い  
フレームがすべて樹脂で出来ているならアルミの約2倍、樹脂とアルミの複合サッシでも約1.5倍程度の価格になります。

②強度がないので重くなりがち  
樹脂はアルミほどの強度がありません。そのため、厚みを出すことで強度を上げているので、必然的に重量が増えて窓の開閉時に重みを感じるようになります。ただし、サポートハンドルを取り付けることにより半分の力で開閉できる工夫もされています。

③紫外線に弱い？  
環境やメンテナンスの状態によっては、30年位品質を維持することができますが、やはり丈夫なアルミに比べると紫外線に弱いです。日の光が強い場所へ設置する場合は、施工会社とよく相談しましょう。また、外壁塗装の際に専用の塗料で上塗りをしてもらうなどして対処すると長持ちします。



暑さが年々厳しくなっています。燃料代も上がり、光熱費の負担も多くなりますね。遮熱製品(日よけ・ブラインド等)・エアコンなど、暑さを防ぐ製品も取り扱っています。お気軽にご相談ください。



# 【氷食病】ってなに？

最近暑くなってきたせいか、気が付くと氷をポリポリ…  
なんて事ありませんか？

実はそれ、貧血による氷食病という病気かもしれません。

氷食病としてのリスクはお腹を壊す程度ですが、貧血が体に与える影響は、女性の不妊・早産・肌荒れ・抜け毛・疲れとじつに様々です。解決方法としては内科(婦人科)の受診、次いで食生活の見直しやサプリメントの摂取などのようです。今回の通信では、暑い夏に負けない元気な体を作るべく、鉄分が手軽に摂れるレシピを掲載しました。ぜひ、お試しください！！



**赤しそジュース** 材料 赤しその葉 300g ~ 350g  
水 2リットル  
砂糖 500g ~ 800g (お好みで)  
クエン酸 20g (または酢 2カップ)  
(酢: 穀物酢やリンゴ酢)

1. 赤紫蘇は葉を摘み、よく水洗いしましょう。
  2. 大きめの鍋に水を沸騰させて、赤紫蘇を入れます。(一度に入りきらない場合は数回に分けてOK)
  3. 葉の色が緑色になり、水の色は紫に変わってきたら約5分~10分ほど煮出し、その後、ザルを使って液をこします。
  4. ③の液を再び鍋に戻して砂糖を加えて煮ときます。
  5. 火を止めて、クエン酸(または酢)を入れてよくかき混ぜ完成。冷めたら容器に入れ冷蔵庫へ。
- ※出来上がったシロップは濃縮された原液なので、飲む際に水やソーダでお好みに割ってください。  
赤しそは6月~7月にしか手に入らないので、作れるのは今の時期だけです。

## 芽ひじきの和え物



材料 芽ひじき 約1カップ(水戻ししたもの)  
ほうれん草 1束  
えのきだけ 1パック  
人参 1/3本  
麵つゆ 適量

1. 芽ひじきは水戻しをしておきます。
2. ほうれん草のおひたしを作り、食べやすい大きさに切る。
3. えのきは、石づきをとり半分・人参は千切りにし、熱湯でさっと湯通ししてザルに引き上げ冷ます。
4. ボールに①・②・③を入れて麵つゆであえて出来上がり。

## キハダマグロの竜田揚げ



材料 ・キハダマグロ 150g  
・生姜 5g  
・にんにく 1/2片  
・片栗粉 大1  
・サラダ油 適量  
・レモン お好み

A: 酒 小1/2  
醤油 大1  
みりん 小1

1. キハダマグロは1cm程の厚さに切り、ボウルに入れます。
2. 1のボウルに生姜、にんにくをすり入れ、Aの調味料を加え混ぜ合わせ、15分程置きます。
3. 味がしみたら片栗粉を加えまぶします。
4. サラダ油を170°程に熱し、両面で1分半程度揚げ、完成です。  
お好みでレモンをかけても美味しいですよ。

# 【商品紹介】 タチカワブラインド

室内の快適な居心地をつくりだす  
ブラインドの特長をご紹介します

ブラインドのメリットに光を自在にコントロールできる点がありますが、スラット(羽根)の向きを操ることで視線をブロックできるのも快適ポイントの一つです。

## 1. 直射日光を反射させ、風を取り入れる

外の光を取り入れたいけれど、直射日光は遮りたい。そんな時はスラットを窓側に傾ければ直射日光を反射しつつ、間から風を通すことができます。また、高い位置にある窓からの視線も遮ってくれます。



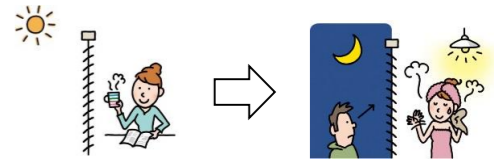
## 2. 自然光を利用して室内の明るさアップ ~ 照明電力の削減効果

逆に日差しを採り入れたい時は、スラットを室内側に傾けましょう。スラットの傾きに沿うかたちで日差しが射し込むので陽だまりにいたような温かいお部屋になってくれます。また、隣接した通りの下・横からの視線が気になる場合にも最適です。



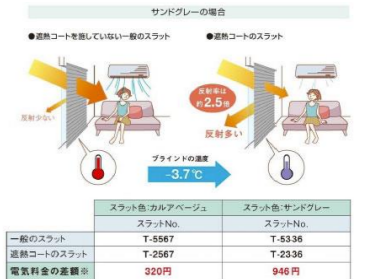
## 3. 光を遮断したい

外からの光を遮断して部屋の中を暗くしたい時は、スラットを窓に対して下向きに閉じましょう。※夜間もそのままの向きにしていると内外の明るさが昼間と反対になるので、外に室内の様子や人のシルエットがわかってしまいますので注意しましょう。



## 4. 遮熱コートスラットや省エネ生地で室温の上昇を抑える

ブラインドの色によって熱の反射率が変化するをご存知でしょうか。「遮熱コート」のスラットは、カラーの中で高い反射性能をもつ“ホワイト”と同様の性質を持つ塗料をコーティングした遮熱性能の高いスラットです。その為、室温の上昇を抑え、空調負荷を低減してくれます。また、遮光効果の高い省エネ生地を使ったブラインドもあります。



**入ってますか？ 自転車保険**

自転車事故を起こした際の被害者救済や加害者の経済的負担の軽減を図るため、自転車損害保険等への加入の義務付けが、今年4月から埼玉県でも始まりました。保険料や保険金は加入する会社にも異なりますが、毎月数百円ほどの保険料で個人賠償責任補償が最大、一億円のものなどが販売されています。

また、全国にある認定自転車店で修理や点検(有料)をしてもらうと貼ってもらえるTSマークというものがあります。これが貼ってあると、年間保険が効くので、一年ごとに点検をしてもらえば保険に入り続けている事になります。マークの色によって、補償金額が異なるので注意しましょう。

自家用車を所有している方は、任意保険の特約を利用するのがいいかもしれません。補償内容にもよりますが、保険料を数千円増額することで自転車事故に関する保険をカバー出来ます。対象も家族全員となっていて、加入してはいる保険のパンフレット等を見直してみてもいいかもしれません。

埼玉県以外にも、兵庫県・大阪府・滋賀県・鹿児島県・京都府で加入の義務化が始まっています。加入してなくても罰則はありませんが、もしもに備えて家族で話し合おうといいかもありませんね。

